

# 磐梯山登山道の状況

【テーマ】 磐梯山における登山道の自然条件、危険箇所、整備箇所、継続確認の観測

【目的】 磐梯山は国立公園内にあり、深谷久弥氏の日本百名山にも数えられており、また、日本ジオパークにも認定された。東北大震災前は年間3万人近くの登山者が訪れていたが、東北大震災によって減少したものの年々回復に向かっており、訪れてくる人は増えてくるものと思われる。このため、登山者に安全に楽しんでもらうために、危険箇所の整備をはじめ、道標や看板の整備の必要があり、高山植物などの自然保護上の監視も重要である。また、噴火から120余年が経ったことから、地形や植生の変化についても観察を続けていくことが大事なことだと思う。  
これらの事を念頭に観察をした。

【観察日】 6月2日、 6月20日、6月29日、7月16日、7月26日  
8月22日、9月24日、10月7日、11月5日

【調査者】 江花 俊和 （猪苗代山岳会会長、日本山岳会会員 いなわしろ伝保人会）

【結果】 具体的な内容については、3ページ以降に記載しています。

自 然 保 護	(1) (2)	黄金清水付近の踏み跡、立札
	(3) (4)	お花畑の踏み込み跡
	(5)	沼ノ平の踏み込み跡
	(6) (7)	携帯トイレブース、旧トイレ
	(8)	使用済み携帯トイレの投棄

危 険 箇 所	(1) (2)	翁島コース 岩とロープの箇所
	(3)	翁島コース 大岩の転落危険箇所
	(4)	火口の土砂崩れ再発の溜れ沢
	(5)	火口の川上コース 溜れ沢
	(6) (7)	火口の川上コース 不明瞭箇所

整備箇所（登山道）	(1)	登山道の壊れ（猪苗代コース）
	(2)	登山道の崩れ（川上・裏磐梯コース）

整備箇所（道標他）	(1)	翁島コース 遥拝所跡
	(2)	翁島コース 賽ノ河原

- (3) 猪苗代コース 天の庭の道標の傾き
- (4) 猪苗代コース 沼ノ平の看板老朽化
- (5) 猪苗代コース 看板の傾き
- (6) 渋谷コース 道標の老朽化
- (7)(8) 川上コース 道標の老朽化
- (9) 川上・裏磐梯コースの道標の状態
- (10) 裏磐梯コース 判読できない道標
- (11) 八方台コース 破損した道標
- (12) 磐梯山の標高

- 継 続 確 認 箇 所
- (1)(2) 火口の植生
  - (3)(4) 火口中央部の変化

- そ の 他
- (1) バンダイクワガタ
  - (2) クロサンショウウオの卵
  - (3) 川上・裏磐梯コースの旧道標
  - (4) 三角点

【付 記】 結果の一部は、会津地方振興局や猪苗代地区遭難対策協議会に連絡して対応をお願いしました。